沖縄県うるま市ICT活用島しょ地域児童生徒交流実証事業

取組開始 時期

R2.4

取組の カテゴリー

⑪教育•研究

応募部門 (○を付ける)

PF会員間連携部門

 \bigcirc

一般部門

1. 団体名

沖縄県うるま市(教育委員会)

2. 連携先 の団体

◎学校法人角川ドワンゴ学園、株式会社rokuyou

3. 取組 目的 生徒数が減少傾向にある島しょ地域等の学校において、地域内外と連携して課題解決や価値創造に取り組める人材育成を図ることにより、21世紀型スキルプログラムなどの特色ある学校づくりを行い、生徒数の増加及び生徒の学力向上を図ることを目的とする。

4. 関連する ゴール







5. 取組経緯

うるま市の離島を組む島しょ地域及び周辺には小中学校が3校あるが、生徒数の少なさや生徒数の減少傾向がみられ、他校と比較して生徒の交流機会や課外活動の課題があった。また、平成30年には超高速ブロードバンドが整備された。そこで、うるま市に本校を置き通信教育でノウハウを有する学校法人角川ドワンゴ学園「N/S高等学校」と連携し、そのリソースを活用した課題解決に取り組むことになった。

6. 取組概要(100字以内) ※1次選考にて、投票ページに掲載します

・Zoomやslackを使ったコミュニケーション(コロナ前から)。ネット部活:オンラインゲームを活用した文化祭による協働・思考スキルの向上。オンライン進路相談。国際交流学習(台湾、エストニア)。フィールドワークによる課題解決能力の向上。SELなどを実施



海を越えてネットでつながる25日間

マイクラで

離島にぴったりの

文化祭 をつくろう

取組のポイント(3つの視点)

地方創生SDGsの視点

- ・小規模校の不利性を克服する交流機会の創出
- ・過疎地でも「質の高い教育」を受ける機会の創出
- ・公民連携したパートナーシップによる地域課題解決

ステークホルダーとの連携

・民間のノウハウを活用したプログラムの作成・実施や運用を実施・学校法人角川ドワンゴ学園を中心に、教育の専門性を有する企業に参画いただいた

モデル性・波及性

・過疎地、小規模校における教育の先進的な取り組みであり、国内416の有人離島のモデルケースとなることから波及性は大きい

7.取組詳細(取組内容の詳細及び取組によって得られた成果、今後の方向性等)

うるま市

教育委員会

株式会社rokuyou(ロクユウ)

沖縄県内に拠点を構える教育企画・制作企業。県内の高校等で総合的探究の時間のコーディネートを務める他、全国の学校でSEL(Social Emotinal Learning)をベースにした教材・研修を実施している。

本事業では、授業のファシリテーションや運営、プログラム制作を 担っている。



エストニアとの交流の様子

『ネット部活』が未来をひらく

●ビジョン :地域や年齢を超え、他者と協同し正解のない課題に

取り組んでいける人材を育てる

●コンセプト:中学生が、地域内外の様々な人材と連携して、地域課題

の調査や解決に取り組むプロジェクト学習。

情報・ネット利活用スキル、情動スキル、協同スキル、

思考スキルの育成(21世紀型ライフスキル)

●具体策 : チームで協同する力を学ぶ、課題の発見や解決を学ぶ

離れた地域のN/S高の高校生、東大や早慶の大学生と協同して課題

roku you

株式会社

rokuyou

を解決をしていく

●将来展望 :シビックプライドを醸成するとともに、サスティナブルな運営に

向けて協賛/寄附を募り取り組んでいく

学校法人角川ドワンゴ学園

うるま市に本校を置く、

KADOKAWA・ドワンゴが創るネット と通信制高校の制度を活用した新し いネットの高校。全国各地で生徒が 学んでいる。

本事業では、プログラムの制作や 事務局運営及び総括を担う。

うるま市教育委員会

島しょ地域の教育に関する新たな 取り組みに向け、学校との調整や教 育環境の調整、連携事業者や関係機 関との調整を行う。



関連するURL:

https://www.youtube.com/watch?v=9G4aBCbLXk0 https://nnn.ed.jp/news/blog/archives/10961.html https://www.roku-you.co/project/case-ict/